

リーディング・テキスト（２）：法律行為

法律行為とは、何でしょうか。法律行為は、私たちの法律関係を決めます。例えば、
 買い物をします。これは、「契約を結ぶ」という法律行為です。「契約を締結する」とも
 います。買い物の場合は、それは売買契約です。売買契約を結ぶと、ある法律関係が
 成立します。それは、売主と買主の間の法律関係です。この法律関係が成立すると、
 当事者は、一定の権利を取得し、一定の義務を負います。

もう一つの例は、結婚です。結婚も法律行為です。結婚すると、当事者の間に特別の
 法律関係が成立します。それは、夫婦関係です。夫婦関係が成立すると、両当事者は夫
 と妻となり、それぞれが相手方に対して、やはり一定の権利を取得し、一定の義務を負い
 ます。

私たちは、毎日、いろいろな社会的な行為をしていますが、その全てが法律行為では
 ありません。法律的に意味がない行為や、裁判所によって保護されない行為があります。
 例えば、花子さんと富士男さんは恋人同士です。ある日、二人はある宗教団体を訪問
 して、「私たちが結婚できるように、祈ってください。もし結婚できたら、私たちは、
 この教団の信者になります。それに、百万円を寄付します。」と約束したとします。し
 かし、このような約束は、本当の法律行為でしょうか。もし花子さんと富士男さんが本当
 に結婚できたとしても、二人には教団の信者になったり、お金を寄付したりする法律的
 な義務はありません。教団には、裁判所に対して、二人に約束を守らせるよう請求する
 権利はありません。もちろん、二人には約束を守る道徳上の義務はあるかもしれません。
 このような義務を「自然債務」と呼びます。

また、形が本当の法律行為と同じでも、その内容が法律に違反する場合は、その行為
 は法律行為ではありません。例えば、覚せい剤の売買を内容とする契約の場合です。

裁判所は、このような契約を守るように、当事者を強制することはありません。法律に
 違反していなくても、道徳に著しく反する内容の行為も、裁判所は保護しません。例え
 ば、富士男さんがある会社^{かいしゃ}に就職^{しゅうしょく}するとき、その雇用契約^{こようけいやく}の中に「被用者がガンなどの
 重大な病気^{じゅうだいびょうき}になったときは、直ぐに退職^{たいしょく}する」という条項^{じょうこう}があったとします。このよ
 うな条項^{じょうこう}は、たとえ違法^{いはん}ではなくても、著しく反道徳的^{はんどうとくてき}ですから、裁判所^{さいばんしょ}がこのよう
 な契約条項^{けいやくじょうこう}を強制^{きょうせい}することはありません。このルールは、「公序良俗^{こうじょりょうぞく}に反する行為^{はんこうい}は、
 無効^{むこう}である」と表現^{ひょうげん}されます。

民法第90条（公序良俗^{こうじょりょうぞく}）

公^{おおやけ}の秩序^{ちつじょ}または善良^{ぜんりょう}の風俗^{ふうぞく}に反する法律行為^{はんほうりつこうい}は、無効^{むこう}とする。

มาตรา ๑๕๐

การใดมีวัตถุประสงค์เป็นการต้องห้ามชัดแจ้งโดยกฎหมาย เป็นการพันวิสัยหรือเป็นการขัด
 ต่อความสงบเรียบร้อยหรือศีลธรรมอันดีของประชาชน การนั้นเป็นโมฆะ